

聖学院中学校・高等学校(男子校)
《社会科(地歴・公民科)非常勤講師募集要項》

1. 募集人数 1～2名(専門科目の指定はありません。5～10コマ程度ご担当いただきます。)
2. 採用期間 2026年4月1日～2027年3月31日(更新の可能性あり)
3. 応募条件 ①キリスト教教育に理解のある方
②中学校及び高等学校の社会科の教員免許状取得又は取得見込みの方(地歴・公民ともに取得の方が望ましい)
③週に3日～5日程度、出勤できる方(他校との掛けもち可、出勤日は応相談)
④アクティブラーニング型の授業を積極的に推進したい方
4. 応募書類 ①履歴書(書式自由、写真添付(3か月以内に撮影したもの)、メールアドレスは必ず記載、年号は西暦で記載)
②教員免許状(又は取得見込証明書)写し
※ 免許更新手続き者は修了証明書も同封してください。
※ 選考結果はメールでお送りしますので、「履歴書」に必ずメールアドレスをご記載ください。
※ 専門科目、出勤が可能な日数や曜日も履歴書にご記入ください。
※ 応募封筒の表面に「社会科 非常勤講師応募書類在中」と明記してください。また応募書類は返却しませんのでご了承ください。なお、出願書類に記載されている個人情報は選考のためのみに使用し、それ以外の用途には一切使用しません。
5. 給与 10,305円以上:週1時間当たりの月単価(学部新卒2025年度実績、経験による前歴換算あり)
6. 応募締切 2025年11月13日(木) 郵送必着、窓口持参の場合、午後4時〔厳守〕
7. 選考場所(送付先) 聖学院中学校・高等学校
〒114-8502 東京都北区中里3-12-1
交通: JR山手線「駒込駅」東口徒歩5分
東京メトロ南北線「駒込駅」4番出口徒歩7分
電話: 03(3917)1121
8. 選考日程 第一次選考「書類審査」
11月15日(土)までに一次選考の結果を通知し、二次選考に進まれる方には集合時刻の連絡など詳細をメールにてお送りいたします。
第二次選考「模擬授業」及び「面接」(お一人10～15分程度)
2025年11月22日(土) 15時～17時の間で時間を指定します。
※ 模擬授業ではパワーポイントを使用していただきます。模擬授業のテーマや詳細につきましては「10. 模擬授業テーマについて」をご確認ください。
※ 選考の時間に関して、ご要望がある場合には、その旨も履歴書にお書きください。
※ 選考結果は11月26日(水)までにメールにてお知らせいたします。
9. その他 ①上履き及び下履きを入れる袋をご持参ください。
②選考を通過された方は、健康診断書〔身長、体重、視力、聴力(オーディオメーター)、胸部X線、血圧)(6ヶ月以内のもの)が必要となります。提出時期については選考後、改めてご連絡いたします。
③ご不明な点があれば、総務統括部長/佐藤(t-satoh@seig-boys.jp)及び社会科科主任/吉原(n-yoshihara@seig-boys.jp)まで、メールにてお問い合わせください。メールの件名は、【社会科採用選考について+お名前】としてください。こちらから3日以内に返信がない場合には、お手数ですが本校代表(03-3917-1121)までお電話ください。

10. 模擬授業テーマについて

I 模擬授業のテーマ

(1) 日本史分野

生徒に「第一次世界大戦に日本がどのように関わったのですか？」と質問された場合、どのように説明しますか、クラス全体に説明するつもりで授業にしてください。対象は高校3年生で、教科書一通りの学習が済んでいるという前提とします。

(2) 世界史分野

「『大航海時代』がもたらしたもの(『大航海時代』の結果)」の授業。想定は高校3年生。

*この授業を行う時期は4月と設定します。

*授業を行う対象生徒の設定は、「昨年度に古代から中世までを学習しており、この後2学期後半までに現代史まで学ぶ年間の授業計画のもとで学んでいる生徒」とします。

*前時までに、「大航海時代」のおきた原因、「大航海者」の業績などの経過は扱っているという設定です。そこに関する内容は省略してください。

(3) 地理分野

乾燥帯の導入を5分間で行ってください。対象は中学1年生 35名、初めて地理を学習する生徒を想定してください。

(4) 公民分野

下記の問1及び問5の問題の解説を、5分間で高校3年生の生徒に説明・解説してください。この高校3年生の生徒達は講義型の授業で一度、十分に説明を受けていますが、多くの生徒がこの2つの問題を間違っていた、という想定です。

問1 「近代憲法の成立時」に関連して、18世紀に人権宣言・憲法として公的に採択された文章の例として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

① 「男性と女性は、平等な権利と自由、またそれらを実現するための平等な機会を有する。」

② 「経済生活の秩序は、すべての者に人間たるに値する生活を保障する目的をもつ正義の原則に適合していなければならない。」

③ 「勤労者の団結する権利及び団体交渉その他の団体行動をする権利は、これを保障する。」

④ 「権利の保障が確保されず、権力の分立が規定されないすべての社会は、憲法をもつものではない。」

問5 「新しい人権」に関連して、日本における「新しい人権」についての記述として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

① 子どもを放置、搾取、虐待から守るため、子どもの権利が主張され、国内法上の権利として確立したが、それに関する条約はまだ存在しない。

② 情報を受け取るだけでなく、受け取った情報に反論し、番組・紙面に参加する権利(アクセス権)が主張され、最高裁判所によって認められている。

③ 国民がその権利・自由を確保するため、国や地方自治体に自分の希望を表明する請願権が主張され、憲法上の権利として認められている。

④ 生活環境の悪化や自然破壊に対処するため、生存権や幸福追求権を根拠に環境権が主張されているが、まだ最高裁判所によっては認められていない。

II 模擬授業に関する留意点

- ・ パワーポイントで資料・図など、必ず1枚以上を使用して下さい。作成した授業資料を黒板に投影し、模擬授業を行なっていただきます。当日、USBメモリーにてデータをお持ちください。
- ・ 模擬授業を行う際にプリント等の配布は禁止します。
- ・ 面接は授業に対しての質問も含まれます。模擬授業と面接でトータル10～15分程度を予定しています。